

新入荷商品のご紹介



本場夏塩沢 玉駒上布
とても珍しい本場夏塩沢です。さらっとして着心地もよく、しわもなりにくいです。白地、黒地どちらでも帯を選びません。

4848000円



夏帯揚げ
すっきりとした夏の着姿にちらりと見える花柄が何ともおしゃれ。地色は白なのでどんな着物とも相性のいい夏用の帯揚げです。

9900円



栗山工房 バッグ

36300円

鮮やか栗山工房の京紅型のバッグ。印象的な色合いと大胆な図柄が栗山工房の最大の特徴です。大容量で、着物にも洋装の時の普段使いにも大活躍しそうです。



印伝 財布

5720円

和風にも洋風にも違和感なく使える花格子の柄の印伝のがま口財布。普段使いにとっても便利です。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2020年8月号

ごあいさつ

まだまだコロナの話題一色の今日この頃です。今年は家族旅行も行けませんが、来年こそは海に見える露天風呂のある宿に行ってみたくと思っています。どこかおすすめがあったら教えて下さいね。



9月の連休

9月1日(火) 2日(水)

特集 北村武資さんの羅の魅力



1995年『羅』、2000年に『経錦(たてにしき)』で人間国宝の認定を受けた北村武資さん。2つの分野で認定されているのはとても珍しいそうです。少し話はそれますが、人間国宝というのは実は通称で、重要無形文化財認定技術の保持者というのが、正式な名称のようです。でも、人間国宝の方が我々にはなじみ深いかもしれませんね。さて北村武資さんが認定を受けている1つめの技術『経錦』。通常は緯糸で文様を作ることが多いのですが、経糸で地と文様を織りなすもので、凹凸感の少ない独特の雰囲気になります。経錦についてはまた詳しく説明する機会を設けたいと思いますが、今回は夏場なのでもう

一つの技術『羅』について掘り下げてみたいと思います。

羅とは、別名、からみ織とかもじり織とも呼ばれ、夏の着物や帯になる絹織物です。経糸同士が平行にならずにからみ合い、その間に緯糸が入ることで通気性に富んだ透け感のある網目状の織物になります。からみ織には、羅の他に紗や絹が知られていますが、紗や絹が通常の機で織られるのに対し、羅織は非常に複雑な組織をしているため、特殊な機を使わないと織ることができません。また、紗や絹が経糸2本を絡み合わせるのに対し、羅織は3本以上の経糸を網のように絡ませるのが特徴です。とっても高価ですが、涼しげに夏を演出してくれる大人のアイテムです。



twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539